

熊建労5400人の力を合わせた

熊本地震救援ニュース

2016年5月26日(木)

第21号

発行 村上久義教宣部長
TEL096-283-7811

被災地域が広範囲に広がり 被災状況の詳細が見えてきた

1、被害状況 (該当支部)

5/26 9:00 現在

	菊鹿	阿蘇	東部	西部	宇城	八代	計
ケガ	0	0	7	6	10		23
家 全壊	1	1	70	13	6		91
半壊 瓦・一部	11	9	447	50	140	10	667
地盤沈下 液状化		1 (川沿い)					1
土石流避難		4					4

(1) 被災地の状況

○り災証明書が、発行された組合員が多くなってきた。

(2) 被災した仲間の要望 (また地域住民からの引き続きの要望)

○り災証明の発行により、各種減免申請や当面の生活資金についての相談が連日ある。

○ブルーシートを使っていたが、破れてしまい再度取りに来る方が増えている。

○水・レトルト食品等の要望強い。

2、支援活動

(1) 支援

○岩手県建設労働組合連合会・山梨県建設組合連合会・埼玉土建一般労働組合・東京建設従業員組合から支援物資が届きました。

(2) 週末ボランティア活動予定

○組合員宅に支援物資をもって訪問予定 (被災状況の確認と共に)

木造仮設の登録者が増えています



支部事務所会議室で開催した八代支部説明会

5月24日までに全支部で、木造組立て説明会を開催しました。

5月26日現在で、90人ほどの組合員が登録を完了させました。

訪問行動で、震源地に近い組合員から、「仕事が心配だったが、木造仮設に申し込めた」といった反応があり、仲間の仕事確保に大いに役立っています。